

## 令和5年度 人事異動及び組織機構の改正について

「令和5年度県政運営の基本的考え方」に示した「未来の『やまがた』をつくる人材育成・確保を推進!」、「持続可能な成長に向けた産業の生産性向上・高付加価値化!」、「県民が幸せを実感できる暮らしやすい『やまがた』へ!」、「安全・安心な暮らしや交流を支える『やまがた強靱化』!」の4つの施策の展開方向に沿って、複雑化・多様化する県民ニーズや県政を巡る困難課題に柔軟かつ積極果敢にチャレンジしながら、時代の転換の先を見据えたウィズコロナ・ポストコロナの県づくりを力強く推進していくため、令和5年4月1日付けで人事異動及び組織機構の改正を以下のとおり行う。

### I 人事異動の基本方針

人事異動に当たっては、組織の活性化と職員の士気高揚に意を用いながら、個々の職員の能力が最大限発揮されるよう、次の点に留意した。

- 1 適材適所の原則に立ち、意欲的で創造力に富む人材の積極的な登用
- 2 女性職員の能力が多様な分野で発揮されるよう、また、将来の幹部職員登用も展望した、女性職員の積極的な登用と活躍の場の拡大に配慮した人事配置
- 3 市町村・地域等現場の声を大切にする県政を展開するため、総合支庁等出先機関と本庁との交流の推進
- 4 人材育成の視点に立った、市町村との相互交流や省庁・民間等派遣、研修派遣などの実施

### II 主な組織機構の改正

「県政運営の基本的考え方」に示した施策の展開方向に沿った組織体制の整備

#### (1) 未来の「やまがた」をつくる人材育成・確保を推進!

##### ① 高等教育の充実強化

- ◇ 本県の教育研究や人材供給における重要な「知の拠点」である高等教育機関及び研究機関の充実強化やこれら機関の相互連携を図るとともに、東北公益文科大学の公立化・機能強化に向けた検討を進めるため、『高等教育政策・学事文書課』及び同課に『高等教育政策主幹』を新設する。

## (2) 持続可能な成長に向けた産業の生産性向上・高付加価値化！

### ① 持続的に発展する豊かで美しい「やまがた」の実現

- ◇ ゼロカーボンの流れを契機とした環境と成長が好循環（グリーン成長）する社会の実現に向け、カーボンニュートラル県民運動を力強く展開していくとともに、水素エネルギー導入促進の取組みを進めていくため、環境企画課内に『カーボンニュートラル・GX戦略室』を新設する。
- ◇ 再生可能エネルギー主力電源化の切り札である洋上風力発電の導入に向けた取組みを各部が一体となり強力に展開していくため、副知事トップのもと、5名の関係部長等を洋上風力推進監（再エネ政策、産業振興、漁業振興、港湾整備、地域企画・調整の各担当）として構成する推進体制を整備する。

### ② 観光復活に向けた施策の推進

- ◇ 入国制限が緩和されるなど観光交流が徐々に再開する中、地域活性化の重要な柱である観光復活の取組みを本格化し、観光誘客の拡大を推進していくため、『観光復活推進課』及び同課内に『精神文化・観光プロモーション室』、『インバウンド推進室』を新設する。

### ③ 県産農産物の販売強化

- ◇ 人口減少による農産物の消費量の減少やグローバル化の進展等により、産地間競争が拡大する中、県産米をはじめとする県産農産物や米粉等の県産農産物を活用した加工食品の流通、販売、ブランド化戦略を一体的に推進していくため、『県産米・農産物ブランド推進課』を新設する。

## (3) 県民が幸せを実感できる暮らしやすい「やまがた」へ！

### ① 本県のDX推進体制の整備

- ◇ 子どもから高齢者まで誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指し、デジタル技術を活用した行政事務の効率化による県民サービスの向上や市町村・各産業分野におけるデジタル化の支援、デジタル人材の育成など、県全体のDXを加速させていくため、『DX推進課』を新設する。

## ② しあわせ子育て施策の推進

◇ 「こども家庭庁」の創設にあわせ、安心して子育てできる環境の整備や子どもが等しく健やかに成長し活躍できる環境づくりに向けた各種支援施策をこれまで以上に力強く推進していくため、しあわせ子育て応援部の課を再編することとし、

- ・ 保育人材の育成・確保や母子保健の推進など、安心して産み育てられる環境づくりを担う『子ども成育支援課』
- ・ 様々な困難を抱える子どもや家庭の福祉の支援を担う『子ども家庭福祉課』
- ・ 県民誰もが暮らしやすさを実感し活躍できる環境づくりを担う『多様性・女性若者活躍課』

を新設する。

## (4) 安全・安心な暮らしや交流を支える「やまがた強靱化」！

### ① 鉄道機能の強化と沿線活性化

◇ 米沢トンネル(仮称)整備の早期実現に向け、山形駅等を中心とする主要駅周辺の開発等を推進するため、『米沢トンネル(仮称)事業化・鉄道駅周辺開発推進室』を新設するとともに、ローカル線や路線バスなどの生活交通の連結性を高めるなど、持続可能な地域公共交通の構築に向けた取組みをより一層進めていくため、総合交通政策課に『沿線活性化・生活交通主幹』を新設する。

### ② 災害に強い県土づくりに向けた体制強化

◇ 多発する自然災害への対応や「やまがた強靱化」に向けた防災力の強化を図るため、県土整備部に部長級の『技術統括監』を新設する。また、令和4年8月に発生した豪雨災害からの早期復旧に向け、災害復旧事業を迅速かつ円滑に推進するため、置賜総合支庁西置賜地域振興局内に『県南豪雨災害復旧対策室』を新設する。

## (5) その他の組織体制の整備

◇ 屋内スケート施設の整備に向けた調査・研究を進めていくため、企画調整課に『みらい企画・屋内スケート施設主幹』を新設する。

### Ⅲ 人事異動の状況

(知事部局)

区分	令和5年度		(参考) 令和4年度	
	異動数	昇任者	異動数	昇任者
部長級	10名	8名	11名	6名
次長級	33名	20名	39名	20名
課長級	228名	76名	241名	75名
課長補佐級	446名	100名	497名	110名
主査級	322名	71名	350名	67名
係長級	259名	78名	259名	101名
一般級	286名		282名	
合計	1,584名	353名	1,679名	379名

(参考) 全任命

区分	令和5年度		(参考) 令和4年度	
	異動数	昇任者	異動数	昇任者
部長級	11名	9名	13名	8名
次長級	39名	26名	46名	26名

### Ⅳ 女性職員の登用状況

(知事部局)

区分	令和5年度		(参考) 令和4年度	
	職員数	昇任者	職員数	昇任者
部長級	3名 (16.7%)	2名	3名 (17.6%)	2名
次長級	8名 (17.0%)	5名	4名 (8.2%)	2名
課長級	73名 (20.1%)	16名	70名 (19.5%)	18名
課長級以上小計	84名 (19.6%)	23名	77名 (18.1%)	22名
課長補佐級	191名 (24.4%)	33名	174名 (21.9%)	41名
主査級	261名 (35.2%)	24名	275名 (34.9%)	26名
係長級	236名 (31.8%)	25名	242名 (33.2%)	36名
合計	772名 (28.7%)	105名	768名 (28.1%)	125名

( ) は職員数に占める女性職員の割合